

七月定例公演事前学習講座

生誕百年 三島由紀夫「能楽」という底流をめぐって

今年で生誕百年を迎える作家三島由紀夫。小説や評論、戯曲など、多彩なジャンルで活動をした彼は、能楽に魅了され影響を受けたことでも知られています。今年度の名古屋能楽堂定例公演は、この三島由紀夫の事跡や作品に関わる能作品をご紹介します。

七月定例公演の演目は、月の天人が美しく舞う能「羽衣」。三島の遺作『豊饒の海』の最終巻はこの幻想的な能の世界を映しこんでおり、巻名も「羽衣」の詞章にある「天人の五衰」から取られています。事前学習講座では、能「羽衣」の物語背景や見どころなどをご紹介します。能楽鑑賞に興味はあるけど難しそう…と思っている方、まずは事前学習講座から始めてみませんか？

～『羽衣（はごろも）』あらすじ～

うらかな春の日、駿河の三保の松原にやって来た漁夫の白竜は、松の枝に掛けてある美しい衣を見つける。白竜が家の宝にと持ち帰ろうとすると、ひとりの女性が現れ、自分は月の世界から訪れた天人であり、その衣を返してほしいと頼む。衣が天の羽衣と知った白竜は返そうとしないが、天人が嘆き悲しむので、白竜は衣を返す代わりに天人の舞を所望する。天人は喜び、羽衣を着て、三保の松原の春景色を愛でながら舞い続け、やがて富士の高嶺へ舞い上がり、大空の霞に紛れて消えていく。

ご受講には事前学習講座
チケットが必要です

500円

チケット取扱いについて

チケット発売日：4月24日（木）

チケット取扱い：

名古屋能楽堂 TEL:052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL:052-249-9387（平日9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口

<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

（工事休館などがありますので、ホームページでご確認下さい。）

※友の会・障がい者等による割引はありません。

講座日時

【日時】 6月14日（土）
14:00～15:30

【会場】 名古屋能楽堂 会議室

【講師】 林 和利
（文学博士・伝承文化研究センター所長）

【定員】 60名（未就学児入場不可）

※チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

七月定例公演

【7月5日（土）14:00開演】

能 「羽衣」 替ノ型（金春流）シテ／本田布由樹

狂言「鎌腹」（和泉流）シテ／奥津健太郎

指定席 3,200円、自由席（一般）2,200円

自由席（学生）1,000円

★対談 「三島文学から学ぶ能の魅力」

能楽師 × 演劇学研究者



主催：公益財団法人名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]